

平成 16 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	横浜市農と緑のふれあいセンター		
101				
※記入不要				
要望問題 イチゴ“宝交早生”の着果不良対策				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
<p>横浜では、ふれあいセンターで増殖した無病苗を親株として、宝交早生を露地栽培している。最近、圃場全体が極端な着果不良となる農家が目立ってきた。</p> <p>原因は今のところ不明で、手がかりを探るため、育苗時の管理状況等について、普及センターと共に調査を始めようとしている。これまでのところ、育苗時に問題があるような感触があるが、はっきりとはしていない。</p> <p>この問題は、JA 横浜二俣川支店管内で多い。</p>				
解決希望年限	<input type="checkbox"/> 1 年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 2～3 年以内	<input type="checkbox"/> 4～5 年以内	<input type="checkbox"/> 5～10 年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> 研究所対応	<input type="checkbox"/> 委託研究	<input type="checkbox"/> 共同研究	<input type="checkbox"/> その他
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業総合研究所 (<input type="checkbox"/> 根府川試験場 <input type="checkbox"/> 三浦試験場 <input type="checkbox"/> 津久井試験場) <input type="checkbox"/> 畜産研究所 <input type="checkbox"/> 水産総合研究所 (<input type="checkbox"/> 内水面試験場 <input type="checkbox"/> 相模湾試験場) <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター			

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所						
部 署	生産技術部						
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施	<input type="checkbox"/> ②実施中	<input type="checkbox"/> ③継続検討	<input type="checkbox"/> ④実施済	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応	<input type="checkbox"/> ⑥現地対応	<input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)						
対応の内容等	<p>横浜市農と緑のふれあいセンター及び横浜川崎農業改良普及センターの担当者と現地調査を行ったところ、着果不良のハッキリとした原因は不明でした。</p> <p>現地の小規模のイチゴ畑の場所は住宅地に多く、同様にふれあいセンター由来の苗を用いて、栽培し、着果が良好な畑は住宅地にはなかった。このことから、光条件が影響しているのではないかと考えられました。</p> <p>H14 年 10 月に本圃に定植し、翌 H15 年に着果不良を起こした株を農総研内の圃場に 5 月末に定植し、親株として増殖し、再度花芽の分化状態を調査する予定です。</p>						
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> 1 年以内	<input type="checkbox"/> 2～3 年以内	<input type="checkbox"/> 4～5 年以内	<input type="checkbox"/> 5～10 年以内			
備 考							